

## 令和7年度 泉州在宅医療懇話会における主な意見（概要）

開催日時：11月12日（水） 場所：泉佐野市立文化会館（エブノ泉の森ホール）

### 1 泉州圏域における連携の拠点等の取組状況について

（質問）

○大阪府は積極的医療機関を増やしたいのか。積極的医療機関にクリニックが入るべきと考えているのか。

（大阪府の回答）課題となっているのが24時間体制の構築、土日休日の対応ということで考えると、積極的医療機関が増える方が望ましいと思う。地域の実情に応じ進めてほしい。

○大阪府で、ICT ツールを用いた患者情報の連携に対し、一定の費用の負担を考えてもらえないか。

（大阪府の回答）医療情報を連携するためのシステム導入については、初年度に限り、一部を補助金の対象としている。

（意見）

○在宅医療を24時間365日担保するため、報酬が得られるシステムにしないとけないと思う。

○連携の拠点において、大阪府内各圏域や泉州圏域の進捗状況の確認、好事例等の情報提供を希望する。連携の拠点、積極的医療機関をもっと強化していった方がよいと考える。

○ICTシステムの統一化をした方がいいのか、地域性があるのでそれぞれのシステムでいいのか、助言してほしい。

○高齢者救急の搬送、特に施設からの救急搬送が課題。連携の拠点や在宅医療の推進は、救急件数の減少が評価となるのではないか。

### 2 その他

#### 【地域医療介護総合確保基金事業（医療分）について】

（質問）

○連携の拠点や積極的医療機関が確保基金を利用出来るようにしてほしい。また、参考としたいので、他圏域での確保基金の利用状況を具体的に示してほしい。

（大阪府の回答）本基金は、自由度の高いものとなっている。堺市医師会では、連携の拠点が24時間体制の確保のため補助するしくみを構築し運用している。

【「人生会議の日」に向けた大阪府の取組等について】

(意見)

○ACP 推進のため、ACP を実施した府民や関係職種へ、何らかインセンティブ（報酬等）を考えてほしい。